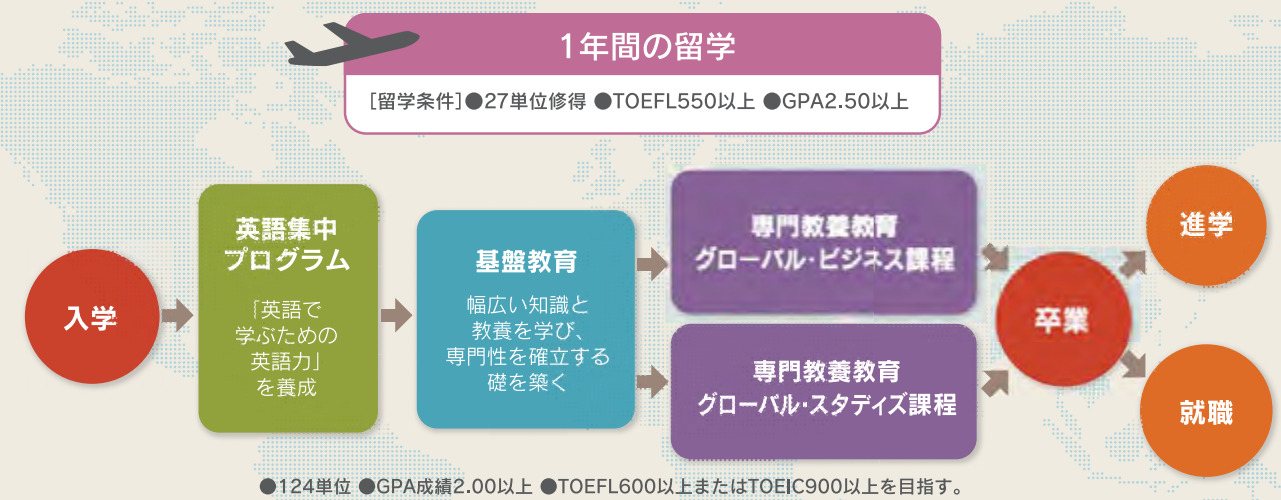


## AIU カリキュラム



### すべての授業を英語で開講

国際教養大学は「英語を学ぶ大学」ではなく、「英語で学び、英語で考える大学」です。入学後は英語集中プログラム(EAP)で徹底的に英語力を鍛え、その後基礎教育で幅広い分野の科目を英語で学びながら、学生は自分の興味や適性を見極め、専門教養教育へと進みます。英語を使いながら「自分が学びたい分野」を見つけ、それを深めていくことで、学生は「知識」を修得し、「自らの言葉」で発信し行動できる力を養っていきます。

<b>【英語集中プログラム(EAP)】</b> 学生は入学後レベル別にクラス分けされ、それぞれの英語能力に合わせた学習により、効率よく英語力(Writing, Reading, Listening, Speaking)を身に付けていきます。	<b>【基礎教育(BE: Basic Education)】</b> 幅広い学問分野の科目を履修することにより知的土台を築き、物事を多角的な視点で観察・検証し、論理的に考える力を養います。
<b>【グローバル・スタディーズ課程(Global Studies Program)】</b> 東アジア、北米、ヨーロッパの主要国の政治、経済、社会、文化及びそれらの国家や地域間の相互関係、国連や世界銀行などの国際機関、NATOやASEANなどの地域協力機構も含め、現代の世界を学生の自由な発想で学びます。	<b>【グローバル・ビジネス課程(Global Business Program)】</b> 世界を舞台に、厳しい競争の場で各国の企業人と競うCompetence(実践的能力)を磨くと同時に、地球益、公益益を理解し、競争社会の「見えざる手」を、「思いやりの手」で補完できるCompassion(共感力)を養います。

### 1年間の海外留学が義務

国際教養大学では、全ての正規学生に1年間の海外留学を義務付けています。留学先は、英語圏だけではなくアジア、ヨーロッパなど全世界に及び、46の国と地域にある172校の提携大学(2015年3月1日現在)から選ぶことができます。  
※成績や提携大学の事情などにより、希望する留学先に留学できない場合もあります。

- 特色1** 提携大学との交換留学
- 特色2** 留学中の授業料は相互免除(※授業料は本学に納めます。)
- 特色3** 3つの留学要件  
①27単位を修得、②GPA(累積評価平均値)2.50以上、  
③TOEFL ITP 550点またはIELTS 6.5以上
- 特色4** 海外留学で取得した単位は、卒業単位として認定

公立大学法人  
**国際教養大学**  
〒010-1292 秋田市雄和椿川字奥橋岱  
TEL: 018-886-5911 FAX: 018-886-5910 Email: SGU@aiu.ac.jp



# 日本発 ワールドクラス リベラルアーツ カレッジ構想

JAPAN'S WORLD-CLASS  
LIBERAL ARTS UNIVERSITY

～10年後の国際教養大学～



平成26年度文部科学省スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援  
TOP GLOBAL UNIVERSITY PROJECT

# 日本発ワールドクラス リベラルアーツカレッジ構想

2014年10月、本学は文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」の採択を受け、「日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジ構想」に取り組みます。今後10年で、国際教養大学を「日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジ」へ進化させていきます。

日本に軸足を据え、  
世界で活躍する人材育成

これからの10年で、ワールドクラスを目指すための4つの教育環境整備プロジェクトを展開していきます。2004年の開学からこれまで本学が取り組んできた「グローバル人材」を育成する上での取り組みに、日本文化への深い理解によるアイデンティティの涵養を加えることで、日本に軸足を据え、世界で日本を発信しつつ、リーダーシップを執れる人材を育成していきます。また、世界標準の教養教育(リベラルアーツ)を確立し、日本から世界へ向けて発信していきます。

## 学長メッセージ



国際教養大学 理事長・学長 鈴木 典比古

「グローバル人材の育成」という目標を掲げ、「国際教養(International Liberal Arts)」という新たな教学理念を立ち上げ前進してきた国際教養大学は、2014年、開学10周年を迎えました。そして同時に、本学の「日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジへの進化」プロジェクトが文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されました。

これまで、全科目の英語による開講や、全学生の1年間海外留学必修などに加え、米国大学との国際協働プロジェクト型学習の実施(「大学の世界展開力強化事業」)や、教員の国際交流による教育力強化や学生の自発性に基づく能動的学修等(「グローバル人材育成推進事業」)を推進してきました。その結果、経済社会のグローバル化に対応し、教育改革の先端を歩む大学としての高い評価を得ております。しかし、世界の大学がグローバル化し進化し続ける中で、本学が取り組むべき課題はまだあります。

次の10年で、日本に軸足を据え、世界で活躍できる人材を輩出する「日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジへの進化」を、国際教養大学は目指しています。

## これからの取組

### 1 24時間リベラルアーツ教育の推進

#### 貴重な4年間、学びあう文化を体験し成長

##### 特性

- 全学生の90%がキャンパスに居住
- 学生宿舎での留学生との混住

##### 課題

- 「生活寮」から「教育寮」へ、寮は共に学修し成長するコミュニティ
- 学生が主役、協働学修空間の創造と充実

##### テーマ別ハウス群導入

- 「自分の自分による自分のための学修テーマ」で、勉学も生活も
- 留学生と協働生活・協働プロジェクトの実施
- 知のサポート、学内外の講師陣による講義と支援
- 「教育寮」、リーダーシップ訓練の絶好の場



### 2 世界標準カリキュラムの充実

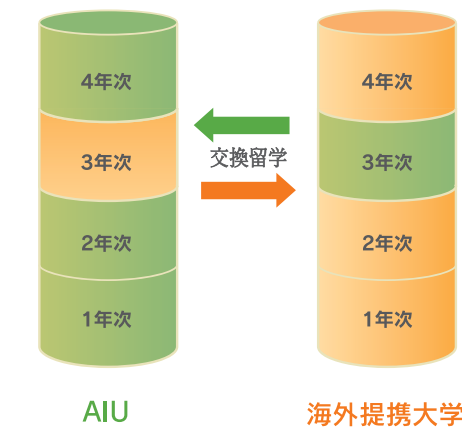
#### 世界標準に向けた科目の調整・整備

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>特性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての授業を英語で開講</li> <li>留学生と机を並べて切磋琢磨</li> <li>全員1年間の海外留学必修</li> </ul> | <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外提携大学との単位互換可能な講義の充実</li> </ul> |
|---|---|

#### 国際標準化による科目群のシームレス化

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>①英語で日本を勉強する日本学修センター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本を学びたい留学生が、英語で日本研究</li> <li>学生は日本を世界に発信するアンバサダー</li> </ul> | <p><b>③国際協働 PBL</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ASEAN諸国提携校とのPBLの開講</li> </ul>   |
| <p><b>②MOOCs導入による講義の国際標準化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外トップスクールの講義を本学で提供</li> </ul>                               | <p><b>④パートナーズプログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外提携校との協働プログラムの実施</li> </ul> |

#### デュアルアセンブリーライン カリキュラム



### 3 日本の英語教育を改革

#### AIU 英語教育の豊富な経験を社会に還元

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>特性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての授業を英語で開講</li> <li>1年間の海外留学の義務化</li> <li>卒業時TOEFL600以上が約40%</li> </ul> | <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内外からの英語教育支援要請への積極対応</li> </ul> |
|--|---|

#### 日本人学生・留学生主導による イングリッシュビレッジの開講

- 学生の企画・運営でイングリッシュビレッジ開講
- 小中高生に「英語で英語を教えよう」
- 学外へ、社会へ、AIUのグローバルな環境を発信

#### 小中高校教員への英語教授法指導 (ティーチャーズセミナー)

- 小中高校英語教員へ、「英語で英語を教える方法」を伝授
- 「あきた発グローバル人材育成プロジェクト」(秋田県)との連携
- AIUを拠点に、全県のグローバル人材育成を推進
- 日本における先験的英語教育モデルの構築



### 4 国際ベンチマーキングの実施

#### AIU 教育を世界の中で相対的・客観的に分析

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>特性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AIU 設立時からグローバル化対応</li> <li>全ての授業を英語で開講</li> <li>GPA、コースナンバリング、秋入学制度等の導入</li> </ul> | <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界における AIU の立ち位置を相対化・客観化</li> </ul> |
|--|---|

#### 教育の取組を海外リベラルアーツ大学と比較・検証

- ウィリアム・アンド・メアリー大学(米国)、ジョージタウン大学(米国)、ディキンソン大学(米国)とのベンチマーキングの実施
- カリキュラム、教育方法、学生支援などを検証
- 米国 Collegiate Learning Assessment (CLA) 導入による学生の成長を日米比較
- AIUプロフェッショナリズム、教職員能力の強化



## これまでの取組

### 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援

#### 『グローバル・リーダー人材育成のための教育力と学修支援強化』

<http://web.aiu.ac.jp/global/>

2012年10月、文部科学省の「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業(旧グローバル人材育成推進事業)」の採択を受け、「グローバル・リーダー人材の育成」に取り組んでいます。教育力と学修支援をさらに強化することで大学院へ進学する卒業生を増やし、「国際教養」教育と大学院での専門教育を受けた、グローバル社会の将来を担う有能なグローバル・リーダーを育成していきます。

#### 教育力強化

海外大学との交換講義の充実  
高水準の研究論文作成の徹底指導



Dr. Hens (Vesalius College, Belgium) による特別講義

#### 学修支援強化

能動的学修支援センターの設立(2013年9月)により、自主的に学ぼうとする学生の意欲を高め支援する体制を整えています。



能動的学修支援センター

#### 情報発信

国際教養教育推進センター(2013年9月)の設立により、国際教養教育に関する情報を発信していきます。



中間報告ワークショップ(秋田で育つグローバル人材～国際教養大学の取組み～)(2014.12.3)

### 大学の世界展開力強化事業

#### 『日米協働教育プロジェクト』

<http://web.aiu.ac.jp/icpt/>

2011年11月、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」の採択を受け、日米協働教育プロジェクトに取り組んでいます。本学とアメリカの大学とが協働で課題解決型科目を開講し、学生にグローバル社会で活躍する上で必要な能力を総合的に身に付けさせることを目標としています。

#### 日米協働課題解決型プロジェクト科目 (PBL: Project-Based Learning Courses)

PBLは、特定のテーマについて学生自身が疑問・課題を抽出し、それらに自主的に取り組み、「解」を見つけ出す学習方法です。本学と米国大学の学生・教員が一緒に、限界集落対策、高齢化社会、移民問題などの課題について、日米両方のフィールドで学習します。



秋田県湯沢市での聞き取り調査

#### 日米教員協働プラットフォーム (FCA: Faculty Collaboration Arena)

PBLを担当する日米の教員を中心に、PBLの準備、実施、授業評価に至るまでの経験を共有していきます。その過程を通して、グローバル時代における大学教育のあり方やその研究成果を、「ワークショップ」などで発表し、国内外の大学とのネットワークを拡大していきます。



PBLワークショップ(2014.1.12)